

つながりに生きる

生徒指導主事 田村 耕一郎

大雨による臨時休校 ～何を「最重要」として考えるか～

「私も10年間、気象予報士をしています、

こんな予報を伝えたのは初めてです。この雨はいつ止むのでしょうか…」

「愛媛県では、あと数ミリの雨で土砂災害の危険性が急激に上がります。」

帰宅してテレビをつけると、ニュース番組でこのような会話がなされていた。私たちにとってもまさかの「1週間臨時休校」だった。

学校には、「企画会」という組織がある。校長先生を長として、関係職員で形成される会だ。この1週間は午前5時集合で対応協議を行った。それぞれの立場に必要な情報を集め、授業をするのかしないのか、自宅待機なのか休校なのか…。朝5時なのに、集まった先生方は自分の担当の情報を活発に交換しながら校長先生の最終決定を伺う。校長先生ご自身も、夜中の情報を完璧に収集され、ホームページも更新されている。なるべく早く御家庭に連絡するために、短時間で的確な判断をすることはものすごい緊張感が漂う。

その際に最優先されているのが「生徒の安全確保」であることは言うまでもない。もちろん、その時に降っている雨の量、最新の天気予報も気にするが、**最終的な判断材料は、前日、4度にわたり先生方が分担して行ってくれた通学路点検・地域点検で実際の目で確かめた情報に基づく。**この連携は我ながらすごいと思う。「全員〇〇」という言葉をよく聞くが、まさに「全員プレー」という感じがする。



明間の通学路。
これではとても通せない。



田之筋地区。

今回の雨に負けて倒れていたイノシシが、どなたかによって救出されていた。ひと安心。

今年は、新型コロナウイルスによる臨時休校、分散登校もあったため、授業の進捗状況が気になるころであるだろう。その上に今回の臨時休校。不安がさらに増していらっしゃる方もいるかもしれない。もちろん、私たちとしても心苦しい判断であった。

ただ、**最も重要なのは「安全」や「元気な身体」である。**これらがなければ授業も部活動も成立しない。私たちはこの観点を最重要視することに揺らぎがなかった。

宇和中学校にはたくさんのスペシャリストがいる。この分の埋め合わせは確実にやる。だから安心してほしい。不安や批判があるかもしれないことを十分想定した上で、芯のある（真のある・心のある）決断を下した先生方を信じて、まずは残りの1学期を頑張ってもらいたい。

大雨・洪水警戒レベルの5段階区分

警戒レベル	住民が取るべき行動	防災情報
5	命を守る最善の行動を	災害発生情報
4	全員が緊急避難	避難指示、避難勧告… 土砂災害警戒情報
3	高齢者らは避難	避難準備・ 高齢者等避難開始… 大雨警報、洪水警報
2	避難先やルートを確認	大雨注意報、 洪水注意報
1	災害への心構えを	警報級の大雨が 降る予報

まだまだ油断大敵 **今後も十分に注意を！**

(愛媛県防災メールより)

- ① 雨や風が激しいときは外出しない。
雨漏りやアンテナの確認のため屋根に上ったり、田んぼの様子を見に行ったりしない。
- ② 増水した河川や水路には近づかない。
- ③ 冠水した道は極力歩かない。
見えない分、危険が多いため、歩く場合は細心の注意を。
- ④ 夜になる前に避難する。
早めの段階で躊躇なく避難を。